

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	「地域の子どもは地域で育む ～SDGs だれも取り残さない。だれもがかけがえのない存在」
2 実施期間	令和4年9月 ～ 令和5年2月
3 事業内容	<p>①具体的な実施内容</p> <p>1) R4, 10, 15～11, 5(毎週土曜日10時～12時)4回連続講座子育てあるあるトーク講座「我が家のトリセツワークショップ(対象者:年長児～小3の保護者)」ファシリテーター土屋由美子&續洋子/参加者5名/場所:ともかぜ振興会館</p> <p>2) R4, 11, 12～12, 3(毎週土曜日10時～12時)4回連続講座子育てあるあるトーク講座「我が家のトリセツワークショップ(対象者:小4～小6の保護者)」ファシリテーター土屋由美子&續洋子/参加者4名/場所:ともかぜ振興会館</p> <p>3) 映画「みんなの学校」上映会(3日5回上映合計133名) R4, 11, 17(木)10～12時/那覇市社会福祉協議会(20名) 19～21時/ともかぜ振興会館(34名) R4, 11, 18(金)10～12時/那覇市繫多川公民館(24名) 19～21時/沖縄県総合福祉センター(29名) R4, 11, 19(土)12:45～14:45/那覇市協働プラザ(26名)</p> <p>4) R4, 12, 10(土)14:20～17:20 子どもの権利条約フォーラム分科会⑩開催場所沖縄大学/参加者36名 テーマ/「学校」と「家庭」以外の選択肢を広げるために</p> <p>5) R5, 1, 26(木)18:45～21:00「～こどもに関わる大人が学ぶ「同意」と「境界線」あなたとわたしの心地よい距離 講師:徳永桂子氏/ともかぜ振興会館/参加者16名</p> <p>6) R5, 2, 16(木)、17(金)、19(土) 映画「ゆめパのじかん」上映会5回(合計102名) 西野博之氏講演会「だいじょうぶのタネをまこう!」 西野博之氏×古謝玄太副市長×續洋子との対談(128名)</p> <p>②事業の周知方法 市民のとも/那覇市LINE/Facebook/広報紙/口コミ</p>

<p>4 事業実施における数値目標 (中間報告書で示した数値)</p>	<p>「子育て応援ワークショップ（低学年編・高学年編）」を各 4 回×2=8 回、上映会を 6 回以上実施し、保護者の悩みをお互いに分かち合い、ひとりじゃないことを知る。そして、解決方法の糸口を見つけ、少しでも大変な子育ての一助になる。ひいては子ども自身も生きやすくなり、地域全体に子育ての輪が広がる。</p>
<p>5 上記 4 の数値目標の達成度</p>	<p>100%「プラス映画「ゆめパのじかん」上映会だけの予定であったが予算の使途変更届を利用して「川崎市子ども夢パーク内のフリースペースえんの運営者である西野博之氏の講演会と対談」ができたことは 100%以上の効果を生み出したと言える。</p>
<p>6 事業の成果</p>	<p>(対象や地域、社会にどう貢献したかなど)</p> <p>成果</p> <p>①「子どもの命を真ん中に考えていくことの重要性」と「今を生きる子どもたちの生きづらさに大人としてどう支えていくのか大人が試されているような時代になっているような気付き」とこれから「プレーパークの可能性と子どもの居場所についてさぐる Special Day」に集合してくれた方々とどうつながり次の一歩にしていくのか課題を課せられた。「だいじょうぶのタネ」をどう飛ばし続けていけるかいろんな団体や個人とつながりながら社会通念「学校行かない＝ダメなんだ」の変革につなげたい。</p> <p>②コロナ禍ではあったが感染予防対策をして実施できたことは非常に良かった「つながる」「つながり」「連携」の重要性を再認識できた。</p> <p>③那覇市全域で活動を展開できた上に、沖縄の各地からアンテナ度の高い方々の参加があり、少子高齢化の中、お互いがあるのまま受け入れ認めあえる地域になり、顔と顔の見える関係性が構築され、地域全体が安全・安心できる地域となる一歩となれた。関心の高い人や団体がつながり大きな一歩になる。</p>

7 評価	<p>① 良かった点、工夫したこと Google フォームからの申込みを利用したことで年齢層、職種等のグラフが一目できたのでデータとなった。 那覇市全域から来場できるように駐車場が完備された会場を使用することも視野に入れた効果として他市町村からの参加もあり県内に同胞が増えた。小さな炎が消えることなく大きなエネルギーに代わるように仕掛けていきたい。 子どもの居場所について考える新しい視点を見出したので次の展開を考える良い機会となった。</p> <p>② 苦労したこと、改善点、今後に活かしたいこと 広報活動でSNS や市民の友を活用したがなかなか集客につながらず、最終的には口コミの力が大きいことを実感した。広報紙を手渡しして話をした方が友人に家族に声かけて一緒に参加してくれていたことに感謝している。毎週、毎月事業を企画したことでかなり多忙感があったが、コロナでできなかった「対面」で話すことができ、出会いの大切さを痛感した。また、お母さん方の孤立している現状（孤育て）の生の切実な声を聴くことができ、お母さんたちが安心して居て良い場所を創っていききたい。</p>
8 今後の展開 (継続、内容変更、終了など)	<p>社会通念を変えることは一夜にしてならずで、これで終わりではなく序章に過ぎない。どうアクションを起こし、子どもたちに安心して自分のありのままの姿で居られる場所を作り上げていくのか？子どもの声なき声を拾いながら子どもたちともに創り上げていきたい。</p>
9 その他の意見、感想など	<p>2回の上映会では校区まち協担当者の方々が映像や音声機器のセッティングを手伝ってくださりとても心強く感じた。本当に助かった。</p>

10 事業実施に関して協力（連携）した行政機関・他団体の有無。該当する箇所に☑等を記入してください。）、協力の内容について記入してください。

行政の協力（企画立案に協力 資金提供 告知などの協力

その他（ 当日の会場準備かたづけ手伝い

）

他団体の協力（企画立案に協力 資金提供 告知などの協力

その他（ 当日の会場準備かたづけ手伝い

）

無し

行政や他団体への今後の連携についての期待・要望など

協働推進課担当者みなさんに広報協力や当日の会場設営等とてもお世話になり助かりました。今後もよろしくお願いいたします。

他団体との連携がうまくいかなかったので協力が得られるように立案するところから一緒にアイデア出し等から進めていく必要性を痛感する。